

ニシキアオイ

アオイ科，一年生



メキシコ原産の雑草で、暖地を中心に被害が拡大しているが、2017年度には東北でも発生が確認されている(本県では未確認)。開花・結実しながら生長し、大豆の落葉後も高い水分を保持しているため汚粒の要因となる。

発生期間	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
				※本県の大豆ほ場での発生は確認されていない								



形態的特徴	芽生えはイチビに似る。茎は直立して50～100cmになり、木質化する。葉は互生し、三角状のほこ型・1対の大型鋸歯と不揃いの小型鋸歯がある。花は紫色。果実は10～20の分果からなり、周りのがくが星形に見える。
生態的特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方では、4月下旬から11月上旬まで出芽が見られ、開花・結実は11月下旬まで長く続く。 ・開花・結実を迎えても成長を続ける。
化学的防除法	
耕種的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入初期に徹底的に防除する。
参考	技術紹介パンフレット 警戒すべき雑草「ニシキアオイ」 (農業・食品産業技術総合研究機構 農研機構 成果マニュアル(2017年))